

地球に笑顔

社会と共有する価値
環境対応の推進



スマイル・オーシャン・プロジェクト
海岸清掃活動

「地球に笑顔」への取り組みの詳細につきましては、下記アドレスからご覧いただけます。

<https://www.maruchan.co.jp/csr/environment/index.html>



① 気候変動への適応とその緩和



気候変動の大きな要因となる地球温暖化に関連する環境負荷の低減を重要な課題の一つと捉えています。事業活動による環境負荷を低減するためにISO14001など環境マネジメントシステムに関する

第三者機関による認証取得の推進や2025年4月に改定した当社グループの「環境方針」に基づき、グループ一体となって、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。

省エネへの取り組み事例

省エネタイプの高効率機器の導入やLED照明への切り替えなどを実施しています。また東洋水産グループの各工場では、それぞれで省エネに向けた目標を設定し活動を行っています。埼玉工場では各課より選出された推進委員による省エネ委員会を設置し、自部署の設備におけるムダの削減を積み重ねることにより工場全体として大きな省エネ効果に結びつけるとともに、省エネ活動を次世代へつなぐための人材育成の場としています。2024年度は10月に埼

玉工場から東洋水産グループの全工場へのオンライン配信による省エネ勉強会も実施しました。



埼玉工場で開催した省エネ勉強会の様子

CO2 排出量削減への取り組み事例

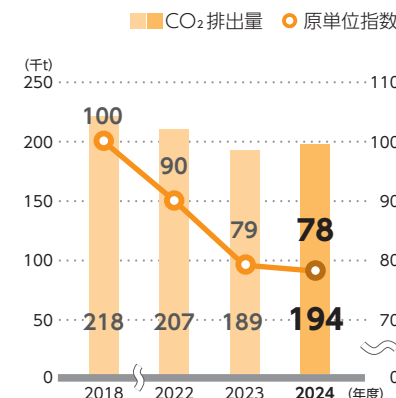
CO2 排出量削減に向け、埼玉工場、関東工場、フクシマフーズ（株）では太陽光発電、伊万里東洋（株）ではバイオマス発電といった再生可能エネルギーを利用しています。また、各工場や冷蔵倉庫の設備では、ボイラー燃料の重油から天然ガスへの転換、フロン冷媒から自然冷媒（アンモニア・CO2）への更新を計画的に行っています。商品の物流においても配送拠点の変更による輸送距離の効率化などに取り組んでいます。



関東工場の天然ガスボイラー

● CO2 排出量と売上高原単位

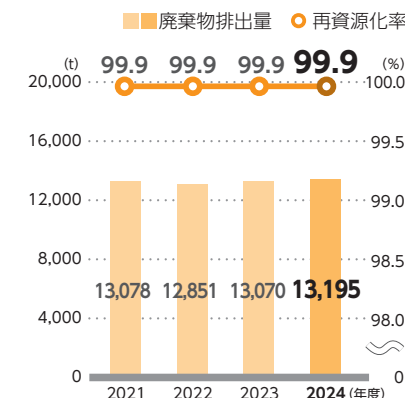
(国内グループ全体)



排出量は、工場において製造量が増えたことにより増加しましたが、各事業所でエネルギー効率の向上に取り組んだ結果、原単位は改善されました。

● 産業廃棄物排出量と再資源化率

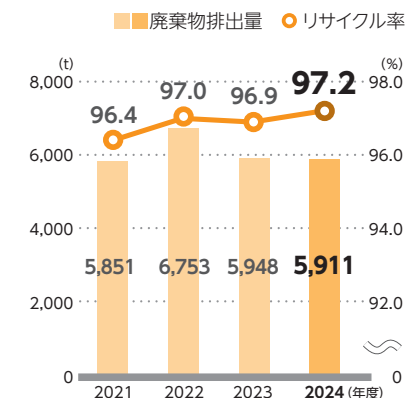
(国内グループ全体)



排出量は、工場における生産増に加え冷蔵倉庫において不要物等の廃棄が多く発生したことにより増加しました。再資源化率は99.9%と引き続き高水準を維持しました。

● 食品廃棄物の排出量とリサイクル率

(東洋水産（株）単体)



排出量は、即席麺工場における製造の安定化、および各工場での製造効率向上の取り組みによりやや減少し、リサイクル率は目標値95%以上を継続して維持しました。

② 生物多様性の保全



東洋水産グループは水産事業からスタートしていることから、海洋資源を含めた生物多様性の保全は重要な使命の一つだと考えています。稚魚放流、ウナギの完全養殖の量産・事業化の研究や持続可能な水産資源の調達を通じた生態系の維持、保護への貢献を行っています。また関東工場でのビオトープの設置など、生物多様性を意識した様々な取り組みを行っています。

「ビオトープ」での群馬県絶滅危惧植物の保全活動

関東工場では、工場近辺の環境を保全し、野生生物の生息空間を提供するビオトープを設置しています。年間6回の群馬大学の石川教授によるビオトープ内の植物調査と群馬県の絶滅危惧種植物を移植しての保全活動を実施しています。また、2024年10月には「群馬ビオトープフォーラム」を開催し、県内の3事業所・団体から関東工場にお越しいたぎ、それぞれの取り組み発表を行うなど、群馬県内での交流も図っています。



石川教授によるビオトープの調査の様子

③ 水資源の保全



「水」は東洋水産グループの事業に欠かすことのできない大切な資源です。持続可能な水資源の利用は、事業を持続的に成長させるための重要な課題の一つだと考えています。東洋水産グループの各工場では、水の使用や排水を継続的に管理するとともに、水の再利用の促進など水の使用量の削減に努めています。また、各工場では、工場からの排水を微生物処理により浄化して放流しています。

河川、海岸清掃活動

東洋水産グループでは、水質の保全に向けた事業所近隣の河川、海岸の清掃活動なども行っています。ユタカフーズ(株)では武豊町の「水辺クリーンアップ大作戦」に56人が参加し、清掃活動を実施しました。



武豊町水辺クリーンアップ大作戦の様子

● 環境負荷データ (グループ全体)



※ CO₂排出量はスコープ1、2の合計 (物流のみスコープ3の一部に該当)
四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります